



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 タカセ株式会社
コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3571-9497

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,117	11.3	124	45.8	165	44.6	121	47.8
2023年3月期第3四半期	6,897	6.9	229	0.6	299	8.8	233	1.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 226百万円 (30.0%) 2023年3月期第3四半期 323百万円 (7.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	121.79	
2023年3月期第3四半期	234.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	9,827	7,057	71.8	7,048.49
2023年3月期	9,997	6,890	68.9	6,904.02

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,057百万円 2023年3月期 6,890百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		70.00	70.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,250	7.3	210	29.0	260	30.0	200	28.3	200.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,054,513 株	2023年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	53,279 株	2023年3月期	56,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	999,975 株	2023年3月期3Q	996,318 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においても当社グループは、社訓「まごころ」、社是「ADD SYSTEM」に則り、顧客目線を大切にした品質第一のサービス提供を行うべく、業務に取り組んでまいりました。特に、当社グループの新たなチャレンジである「将来を見据えた、より社会貢献度の高い商品分野へ新しい物流サービスの提供」への実現に向けて、当社が取得している「医療機器製造業」免許を活用した営業活動に注力し、新規顧客を獲得したほか、来年度以降の新規業務取扱ならびに取扱量拡大に向け、交渉を進めてまいりました。一部の顧客との間では、来年度以降の受託に向けて具体的な交渉を進めている段階であります。また、当社グループの強みである好立地に存する当社施設のメリットを活かし、新規業務の受託に向けたセールス活動にも引き続き取り組んでまいりました。さらに、今後の当社の事業拡大の第一歩となる新規営業拠点の展開についても、立上げに向けた検討を続けております。

足元では2023年10月から最低賃金の引上げにより、主に流通加工に係る労務コストが上昇しております。コスト上昇への対策として、高いサービスレベルを維持することを前提としながら、作業人員数の見直しや適正な配置、作業費に占める固定費圧縮にも引き続き取り組んでまいりました。また、業務効率化を目的として導入した物流機器も2023年10月より本格稼働しております。今後、導入効果を最大化すべく、機器導入後の業務に適した業務フローおよび人員配置の見直しを行い、更なる改善に向けた取組を引き続き強化してまいります。加えて、当社顧客からの收受価格についても、顧客への丁寧な説明を行いながら、当社の提供する品質第一のサービスに対しての適正な対価として理解を得ることで、早期の価格改定を実現できるよう、継続して粘り強く取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、期初からの收受価格改定、新規顧客の獲得による増収要因等はあったものの、前年の上期まで継続していた海上運賃の高止まりによる收受価格上昇の効果が剥落したことに加え、国際貨物の荷動きが依然低調であったことにより、前年同期間と比較して、11.3%減の61億17百万円となりました。

利益面につきましては、引き続きグループ全体でのコスト削減に努めたものの、上期から続く中国現地法人の不振ならびに、営業収益減少による影響が大きく、営業利益は、前年同期間と比較して、45.8%減の1億24百万円となりました。また、経常利益においては、同44.6%減の1億65百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は同47.8%減の1億21百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、收受価格の改定および新規顧客の獲得による増収要因はあったものの、前年上期まで続いた海上運賃の高止まりを受けた收受価格上昇の反動減の影響が大きく、輸出入貨物の取扱減少も続いており、営業収益が前年同期間と比較して11.5%減の60億55百万円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響により、52.0%減の90百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、一部業務取扱量が増加した顧客はあったものの、主要顧客における業務取扱量減少の影響が大きく、前年同期間と比較して10.7%減の2億27百万円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響を受け、前年同期間と比較して99.4%減の0百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。国内物流業務取扱が堅調に推移し、営業収益は前年同期間と比較して2.2%増の7億71百万円となりました。営業利益は、労務コスト上昇の影響を受けたものの、営業収益の増加によってそれを補い、前年同期間と比較して62.3%増の16百万円となりました。

(注) 上記営業収益については、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円（1.7%）減少し、98億27百万円となりました。

この主な要因は、投資有価証券が54百万円増加した一方で、売掛金及び契約資産が97百万円、有形固定資産が75百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億36百万円(10.8%)減少し、27億69百万円となりました。

この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億33百万円、長期借入金が2億61百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円(2.4%)増加し、70億57百万円となりました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億21百万円、為替換算調整勘定が67百万円増加した一方で、前連結会計年度に係る期末配当金により69百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、業績が期初予測時の進捗からは下振れして推移しているものの、第3四半期連結会計期間において、特にタカセ株式会社の業績に回復が見られ、通期では概ね予想どおりの結果になると見込んでいることから、2023年3月期決算短信(2023年5月12日付)で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,115,030	2,076,321
売掛金及び契約資産	1,017,072	919,957
原材料及び貯蔵品	12,962	13,812
前払費用	47,786	52,708
その他	155,126	140,690
貸倒引当金	△1,102	△1,570
流動資産合計	3,346,875	3,201,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,997,116	10,045,740
減価償却累計額	△7,366,710	△7,536,711
減損損失累計額	△64,872	△64,872
建物及び構築物（純額）	2,565,533	2,444,157
機械装置及び運搬具	1,933,070	1,982,506
減価償却累計額	△1,827,089	△1,835,613
減損損失累計額	△2,277	△2,277
機械装置及び運搬具（純額）	103,704	144,616
土地	2,335,562	2,335,562
その他	680,071	671,557
減価償却累計額	△547,615	△532,618
減損損失累計額	△12,027	△13,265
その他（純額）	120,428	125,673
有形固定資産合計	5,125,229	5,050,009
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	55,061	43,752
無形固定資産合計	513,547	502,238
投資その他の資産		
投資有価証券	563,659	617,882
繰延税金資産	24,672	19,744
その他	426,512	440,797
貸倒引当金	△3,480	△5,426
投資その他の資産合計	1,011,363	1,072,998
固定資産合計	6,650,141	6,625,247
資産合計	9,997,017	9,827,166

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	421,151	440,595
短期借入金	320,000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	498,000	365,000
未払費用	90,567	104,442
未払法人税等	53,527	7,779
賞与引当金	58,933	35,047
その他	105,172	138,013
流動負債合計	1,547,350	1,430,878
固定負債		
長期借入金	943,000	682,000
退職給付に係る負債	382,425	401,688
その他	233,333	255,408
固定負債合計	1,558,759	1,339,096
負債合計	3,106,110	2,769,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,171,719
利益剰余金	2,421,089	2,473,006
自己株式	△148,685	△140,433
株主資本合計	6,576,253	6,637,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,234	202,718
為替換算調整勘定	149,419	216,899
その他の包括利益累計額合計	314,653	419,618
純資産合計	6,890,906	7,057,191
負債純資産合計	9,997,017	9,827,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
営業収益	6,897,543	6,117,379
営業原価	5,948,431	5,326,823
営業総利益	949,111	790,556
販売費及び一般管理費	719,402	666,103
営業利益	229,709	124,452
営業外収益		
受取利息	672	2,149
受取配当金	24,480	21,206
受取賃貸料	17,885	17,825
為替差益	21,085	3,610
その他	28,290	12,779
営業外収益合計	92,414	57,571
営業外費用		
支払利息	17,870	14,237
その他	4,944	2,095
営業外費用合計	22,815	16,333
経常利益	299,307	165,690
特別利益		
固定資産売却益	1,622	4,870
特別利益合計	1,622	4,870
特別損失		
固定資産除売却損	35	925
減損損失	408	845
特別損失合計	443	1,771
税金等調整前四半期純利益	300,486	168,788
法人税、住民税及び事業税	51,334	35,772
法人税等調整額	15,630	11,232
法人税等合計	66,964	47,004
四半期純利益	233,522	121,784
親会社株主に帰属する四半期純利益	233,522	121,784

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	233,522	121,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,924	37,484
為替換算調整勘定	105,134	67,480
その他の包括利益合計	90,210	104,964
四半期包括利益	323,732	226,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,732	226,748

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	4,853,112	39,628	3,316	4,896,057	22,976	4,919,033
中国	1,134,215	—	—	1,134,215	—	1,134,215
米国	640,537	—	—	640,537	—	640,537
顧客との契約から生じる収益	6,627,865	39,628	3,316	6,670,810	22,976	6,693,787
その他の収益(注) 4	203,755	—	—	203,755	—	203,755
外部顧客への営業収益	6,831,621	39,628	3,316	6,874,566	22,976	6,897,543
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7,574	215,340	752,045	974,961	57,876	1,032,837
計	6,839,196	254,969	755,361	7,849,527	80,853	7,930,380
セグメント利益	188,903	11,410	10,286	210,600	8,500	219,101

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	4,919,033
中国	—	1,134,215
米国	—	640,537
顧客との契約から生じる収益	—	6,693,787
その他の収益(注) 4	—	203,755
外部顧客への営業収益	—	6,897,543
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△1,032,837	—
計	△1,032,837	6,897,543
セグメント利益	10,607	229,709

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額10,607千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失408千円を計上しております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
日本	4,532,418	42,143	2,212	4,576,775	22,704	4,599,480
中国	1,065,475	—	—	1,065,475	—	1,065,475
米国	248,668	—	—	248,668	—	248,668
顧客との契約から生じる収益	5,846,561	42,143	2,212	5,890,918	22,704	5,913,623
その他の収益(注) 4	203,755	—	—	203,755	—	203,755
外部顧客への営業収益	6,050,317	42,143	2,212	6,094,674	22,704	6,117,379
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	5,642	185,476	769,567	960,686	46,154	1,006,841
計	6,055,960	227,619	771,780	7,055,361	68,859	7,124,220
セグメント利益	90,602	63	16,690	107,356	4,144	111,500

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
日本	—	4,599,480
中国	—	1,065,475
米国	—	248,668
顧客との契約から生じる収益	—	5,913,623
その他の収益(注) 4	—	203,755
外部顧客への営業収益	—	6,117,379
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	△1,006,841	—
計	△1,006,841	6,117,379
セグメント利益	12,951	124,452

- (注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。
2. セグメント利益の調整額12,951千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。
4. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に含まれる不動産賃貸収入および「金融商品に関する会計基準」に含まれる信託受益権により生じた収入であります。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社福岡営業所の工具、器具及び備品にかかる減損損失845千円を計上しております。